



平成 29 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 **オーデリック株式会社**
代表者名 代表取締役社長 伊 藤 雅 人
(JASDAQ・コード番号 6889)
問合せ先 取締役経営本部長 河 井 隆
(TEL. 03-3332-1111)

中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、2016年5月に中期3ヵ年経営計画を公表いたしました。当社グループにおきましては、事業環境の変化等に対応すべく、ローリング方式により中期経営計画を毎年度改定することとしております。

この度、2018年3月期を初年度とする中期3ヵ年経営計画2017-2019を下記の通り策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画策定にあたっての考え方

昨年策定いたしました中期3ヵ年経営計画2016-2018においては、2017年3月期において405億円の売上高を達成した上で、その後も成長を続ける計画を立て、取り組んでまいりましたが、これまで売上を牽引してきた照明器具のLED化も、当社グループの出荷におけるLED照明器具の比率が94%に達するまで普及が進んだ結果、低価格化の影響等により、2017年3月期は前期比で増益となるも、親会社株主に帰属する当期純利益を除き、計画未達に終わりました。

国内照明器具市場において、既存光源からLEDへの取り換え需要（ストックベース）は堅調に推移するものの、フローベースでは照明器具のLED化が既に9割以上に達したことから、今後大きな市場拡大は期待できないと予想されます。また、当社グループの業績に大きな影響を与える住宅投資については、今年度以降も政府の各種住宅支援策や住宅ローン低金利により、底堅い需要が期待されるものの、相続税対策による貸家着工の過熱感が懸念されるほか、人口減少から新設住宅着工戸数の漸減が見込まれます。

こうした環境下でも確実な成長を果たすべく、本計画に沿って取り組んでまいります。

2. 本中期経営計画における数値目標

単位:百万円

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	2019年3月期 (目標)	2020年3月期 (目標)
売上高	37,951	40,000	42,000	44,000
営業利益	4,837	5,000	5,500	6,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,485	3,500	3,850	4,200

3. 重点施策

(1)照明コントロール機能の充実による高付加価値化推進

2016年度において照明コントロールシステム「つながるあかり」CONNECTED LIGHTING を発表し、タブレット等のコントローラーから離れた空間のあかりも自由に設定・変更できる機能に加え、あかり電力の見える化も実現しましたが、引き続き住宅、店舗、オフィスなどさまざまな用途に向けた「つながるあかり」対応品を開発し、付加価値アップを図ってまいります。

(2)住宅照明分野：ストック市場のLED化提案

2017年3月期において当社グループの照明器具出荷の94%がLEDとなるまでに普及が進みましたが、国内の既設照明器具におけるLED化率は、未だ3割程度と見ております。2016年4月に経済産業省が策定した「エネルギー革新戦略」にも掲げられた「2030年度にLED等の高効率照明をストックで100%にする」との戦略に沿ってLED化を進める動き、2017年4月から建築物省エネ法で規制措置が施行されたことに伴う省エネ化加速の動きもあり、新設住宅着工戸数が長期的に漸減する中であっても、住宅照明分野の売上を維持・拡大すべく、既存光源からLEDへのリニューアル提案に注力してまいります。

(3)店舗照明分野：ラインナップ拡充

飲食、物販、サービスなど、その形態によって求められる光の演出はさまざまであり、要求される光の実現に 대응するためには、配光角度、色温度、器具光束などが異なる製品を豊富に取り揃える必要があります。このため、受注獲得に向けてスポットライト、ダウンライトなどのテクニカル照明について、さらなるラインナップ拡充を進めてまいります。

(4)施設照明分野：ハイパワー照明の提案による単価アップ

LEDのハイパワー化実現によって、高天井器具や投光器といった施設向け照明器具の開発を強化いたします。水銀に関する水俣条約では、2020年12月31日以降、一般照明用の高圧水銀ランプの製造・輸出入が禁止され、水銀ランプからLEDへの取替え需要が見込まれることから、こうした需要を取り込むべく、製品開発と提案営業を進めてまいります。

(5)施設照明分野：案件獲得と高品質な照明計画

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う施設整備のほか、首都圏を中心に

活気づく大型再開発への照明提案等、各地の事業所にて案件のプラン獲得をさらに積極化するとともに、質の高い照明計画で受注確率の向上に取り組んでまいります。

(6)海外への展開加速

ASEAN を中心とし、中東地域にも展開を広げ、現地代理店を通じて店舗や商業施設物件などに向けて営業を進めておりますが、未だ海外売上比率は全体の1%未満という状況です。LED化が加速する海外市場に向け、高品質LED照明器具の提案を積極化してまいります。

【本資料に関する注記事項】

本資料には、当社グループの計画、数値目標などが含まれておりますが、これらは現時点での予測であります。実際の業績等は様々なリスクや不確定要素により、大きく異なる可能性があることをご留意ください。

以 上